

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月6日

上場会社名 小野建株式会社 上場取引所 東 福
 コード番号 7414 URL <http://www.onoken.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 建
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務管理統括本部長 (氏名) 小野 哲司 TEL 093-561-0036
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	46,237	△15.5	689	△44.0	765	△40.6	498	△43.7
2020年3月期第1四半期	54,744	5.5	1,230	16.1	1,288	16.6	885	20.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 573百万円 (△26.2%) 2020年3月期第1四半期 777百万円 (△4.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	23.58	19.72
2020年3月期第1四半期	40.49	—

(注) 2020年3月期第1四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	147,459	69,994	47.5
2020年3月期	153,598	70,160	45.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 69,994百万円 2020年3月期 70,160百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当予想に関しましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響を見通すことが困難であるため、未定としております。今後の動向を見極めながら、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	21,859,712株	2020年3月期	21,859,712株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	735,286株	2020年3月期	735,251株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	21,124,453株	2020年3月期1Q	21,859,211株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、コロナ禍のなかで社会並びに経済活動が急速に停滞し、極めて厳しい状況が続いております。今後も経済活動の停滞による輸出関連産業をはじめ国内製造業の停滞と国際情勢など、外部環境に不透明感があり、景況感はしばらくは回復が厳しい状況となっております。

当社グループが属している鉄鋼建材流通業界におきましても、主力販売先である建設関連業界は、地域差はあるものの受注分の大型案件は順調に推移しておりますが、中小型案件を中心に新規案件が減少するなど、市場規模は縮小していることから、鉄鋼商品の市況も下落局面となっております。

当社グループにおきましては、鉄鋼商品販売事業については、需要の低迷、市況の下落局面のなか販売数量増加を目指し積極的に営業展開を行い、特に加工設備の強化による加工品の販売に注力し、収益確保に注力しました。

また、建材商品販売事業・工事請負事業につきましても、公共工事・民間工事ともに受注活動を積極的に行い、今後の収益向上に取り組んでまいりました。

業績につきましては、売上高は、鉄鋼商品販売事業における販売数量の減少及び市況が下落したこと、並びに工事請負事業における完成工事の減少により462億37百万円（前年同期比15.5%減）となりました。損益面におきましては、売上の減少及び鉄鋼商品販売事業における利益率の低下を主要因として、営業利益6億89百万円（前年同期比44.0%減）、経常利益7億65百万円（前年同期比40.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億98百万円（前年同期比43.7%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①九州・中国エリア

前年同期に対し、鉄鋼商品市況の低下及び販売数量の減少、並びに工事請負事業の減少により売上高は減少いたしました。損益につきましては、売上の減少に伴い減益となりました。その結果、外部顧客への売上高は279億3百万円（前年同期比12.1%減）、セグメント利益は6億20百万円（前年同期比21.7%減）となりました。

②関西・中京エリア

前年同期に対し、鉄鋼商品市況の下落及び販売数量の減少により売上高は減少いたしました。損益につきましても、鉄鋼商品販売事業の利益率の低下により減益となりました。その結果、外部顧客への売上高は95億67百万円（前年同期比24.7%減）、セグメント利益は73百万円（前年同期比63.4%減）となりました。

③関東・東北エリア

前年同期に対し、鉄鋼商品販売数量は微減ながら市況の下落が大きく売上高は減少いたしました。損益につきましては、鉄鋼商品販売事業の利益率の低下が拡大し、大幅減益となりセグメント損失となりました。その結果、外部顧客への売上高は87億66百万円（前年同期比14.9%減）、セグメント損失は51百万円（前年同期は1億75百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

前連結会計年度末比61億38百万円減少し、1,474億59百万円となりました。主な要因は、未完成工事の増加による前渡金が増加したものの、売上に対する債権並びに商品が減少したことによるものです。

(負債の部)

前連結会計年度末比59億72百万円減少し、774億65百万円となりました。主な要因は、未完成工事の増加による前受金が増加したものの、仕入に対する債務並びに借入金が増加したことによるものです。

(純資産の部)

前連結会計年度末比1億65百万円減少し、699億94百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したものの、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が続き、第2波の様相となってくるなかで、一旦はコロナ禍での社会・経済活動再開の兆しは見え始めたものの、当社を取り巻く厳しい環境がまだまだ続くことが想定されます。

そのため、2021年3月期通期の連結業績については、現時点において下記主懸念要因により見通すことが困難であるため未定としております。今後の動向を見極めながら、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示する予定であります。

(主懸念要因)

- ・ 輸出関連企業・機械製造業者をはじめ販売先の業績低迷による販売の減少
- ・ 建設工事の着工遅延並びに中止
- ・ 鉄鋼商品市況の需要低迷による下落
- ・ 取引先の業績悪化による不良債権発生リスクの拡大

当社グループにおきましては、従業員ならびに関係する皆様の安全を最優先とし、社会的責任を果たすべく行政の方針・指導に従い感染拡大防止に努めながら、取引先に対しての供給責任を果たすため、適切な対応を行ってまいります。また、中長期的な視野に立って、従来から進めている当社の基本戦略である「販売エリアの拡大」と「販売シェアの向上」に邁進し、地域密着型経営の推進を積極的に継続してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,292	5,264
受取手形及び売掛金	53,072	46,904
電子記録債権	9,719	9,178
商品及び製品	18,929	15,586
原材料及び貯蔵品	2,482	2,059
前渡金	10,382	13,483
その他	240	380
貸倒引当金	△105	△94
流動資産合計	100,013	92,763
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,980	17,736
土地	27,609	28,367
その他(純額)	5,321	5,925
有形固定資産合計	50,911	52,029
無形固定資産		
その他	178	170
無形固定資産合計	178	170
投資その他の資産		
その他	3,442	3,329
貸倒引当金	△947	△833
投資その他の資産合計	2,495	2,496
固定資産合計	53,584	54,696
資産合計	153,598	147,459
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,363	20,063
電子記録債務	18,403	16,103
短期借入金	22,250	19,400
1年内返済予定の長期借入金	89	41
未払法人税等	1,075	264
前受金	6,170	10,032
賞与引当金	1,094	1,332
工事損失引当金	—	164
その他	3,180	2,891
流動負債合計	75,628	70,293
固定負債		
社債	6,029	6,027
長期借入金	34	24
役員退職慰労引当金	636	35
退職給付に係る負債	743	714
資産除去債務	163	163
その他	202	206
固定負債合計	7,809	7,171
負債合計	83,437	77,465

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,299	4,299
資本剰余金	4,302	4,302
利益剰余金	62,475	62,234
自己株式	△1,000	△1,000
株主資本合計	70,077	69,836
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79	155
繰延ヘッジ損益	4	4
退職給付に係る調整累計額	△1	△2
その他の包括利益累計額合計	82	158
非支配株主持分	0	0
純資産合計	70,160	69,994
負債純資産合計	153,598	147,459

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	54,744	46,237
売上原価	50,155	42,330
売上総利益	4,589	3,907
販売費及び一般管理費	3,359	3,217
営業利益	1,230	689
営業外収益		
受取利息	0	1
受取家賃	16	15
その他	67	77
営業外収益合計	84	95
営業外費用		
支払利息	8	6
売上割引	15	11
その他	2	2
営業外費用合計	26	19
経常利益	1,288	765
特別利益		
固定資産売却益	12	—
その他	—	0
特別利益合計	12	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
固定資産売却損	0	—
投資有価証券評価損	—	24
その他	—	0
特別損失合計	0	25
税金等調整前四半期純利益	1,300	739
法人税等	415	241
四半期純利益	885	498
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	885	498

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	885	498
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70	75
繰延ヘッジ損益	△29	0
退職給付に係る調整額	△7	△0
その他の包括利益合計	△107	75
四半期包括利益	777	573
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	777	573
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。